

職員各位

東村山市長 渡 部 尚

令和3年度経営方針

「Future・Fast・Fun の3F で『笑顔つながる東村山』への活路を開こう」

令和3年度は、「みどり にぎわい いろどり豊かに 笑顔つながる 東村山」を将来都市像に掲げる「第5次総合計画～わたしたちの SDGs～」がスタートする重要な年度として、東村山の「持続可能なまちづくり」を進めていくために、現下の新型コロナウイルス感染症による地域経済、市民生活への影響を最小限にとどめて安全・安心な生活を取り戻すとともに、全職員が気持ちを一つにして、この難局を「笑顔つながる東村山の実現」に向けた転機(チャンス)とポジティブに捉え、ポストコロナ時代を見据えた未来志向(Future)で、行財政のあらゆる面における変革を素早く(Fast)、かつ職員・市民・事業者が協働、連携できるよう楽しく(Fun)取り組んでいくことを令和3年度の経営方針とし、以下を本経営方針の重点事項とする。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

市民の生命を確実に守ることを最優先に、円滑かつ安全にワクチン接種を実施し、これ以上の感染拡大を防止するとともに、市民生活や事業活動を守るため、経済支援、経済対策等を確実に実施すること。

市民活動や施策の停滞を招かぬよう、社会状況の変化に敏感に反応し、適切に対応するとともに、感染症予防に万全を期して事業実施に当たること。また、業務継続性を確保するため、事業執行・勤務体制についても万全を期すこと。

2. 総合計画の推進

令和3年度版実施計画を滞らせることなく、確実に実施すること。

事業の実施、実施計画のローリングにあたっては、SDGsの趣旨である持続可能性や包摂性を意識し、第5次総合計画の基本目標、まち、ひと、くらしの側面での好循環の創出を目指したものとすること。

3. 行財政改革の推進

第1次実行プログラムを滞らせることなく、確実に実施すること。

市民の利便性、職員の生産性向上のため、市民サービス・業務のデジタル化を積極的に進めること。

安全に利用できる公共施設を将来世代に引き継ぐため、早期に施設再生の方向性を検討すること。

4. 庁内の情報共有、連携の強化と市民・事業者との協働、連携推進

多様化・複雑化する重要課題への早期かつ組織横断的な対応とともに、施策展開の好循環の創出を確実にするため、庁内における情報共有・連携強化を徹底するとともに、市民・事業者との協働、連携を推進すること。

5. 予算の適正な執行

令和3年度予算は、市税収入・交付金等の減少の影響を大きく受けた非常に厳しい状況下で編成されたことを念頭に、今後の財政需要や新型コロナウイルスの影響などを踏まえ、さらなる経費の節減に努めるとともに、令和4年度予算編成も見据えた上で、計画的、効率的な執行を行うこと。

予算執行にあたっては、法令等の遵守はもとより、事業の必要性を明確にし、市民への説明責任を念頭に適正な執行を行うとともに、チェック体制や指導體制の整備及び強化を図ること。